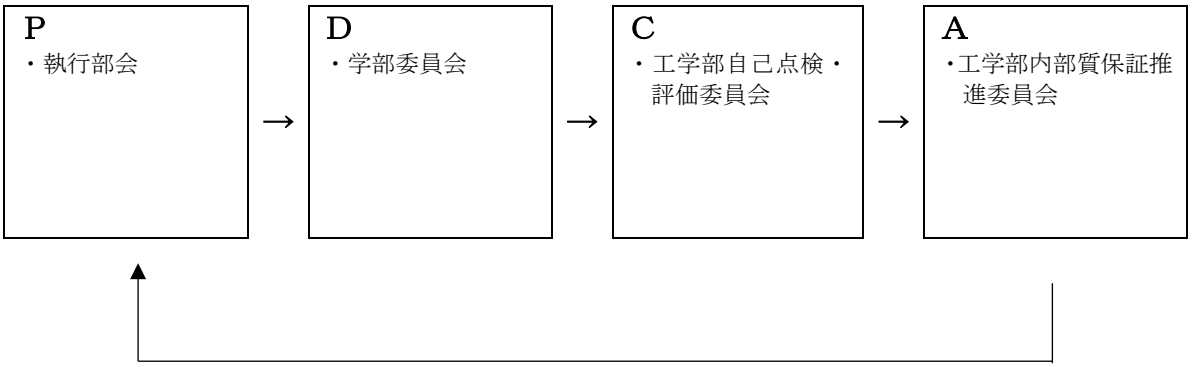
# 令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　工学研究科

**基準２ 内部質保証**

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。




２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目③**
**内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。**
**＜評価の視点＞**
**・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。**

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

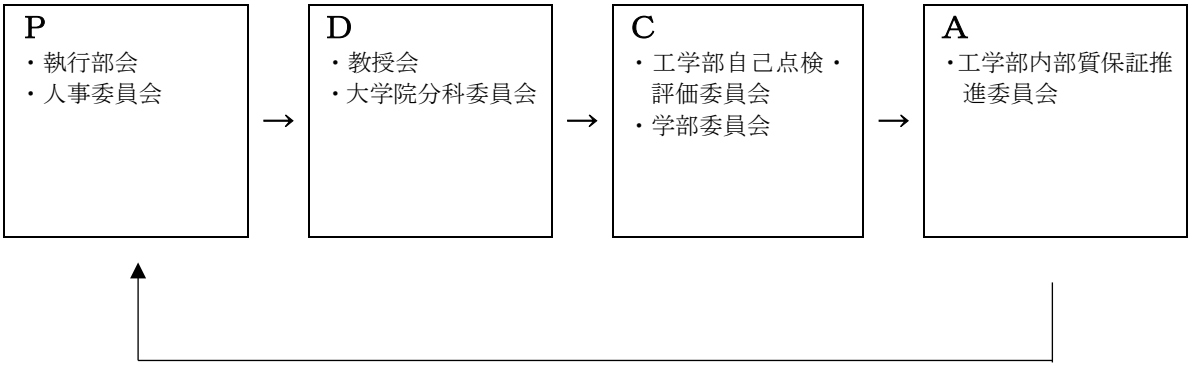
工学部内部質保証推進委員会では，各専攻（学科や総合教育を含む）の自己点検・評価が適切に行われているか，そしてそれが効果的であるかを検証している。具体的な事例としては，「点検・評価報告書」を活用し，問題点の特定と改善事項の提案を行うことで，問題が顕在化する前に対応している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

## 基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。




２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目②**

**教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。**

**＜評価の視点＞**

- **教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

専攻（学科等を含む）組織の適切性については，人事委員会が中心となって，学務委員会や工学部自己点検・評価委員会と共に専攻組織の適切性を確認している。また，人事委員会では，専攻ごとの問題点を整理した上で，改善策を検討している専攻と密接に連携しながら工学研究科（工学部）全体で議論を進める体制が整えられている。

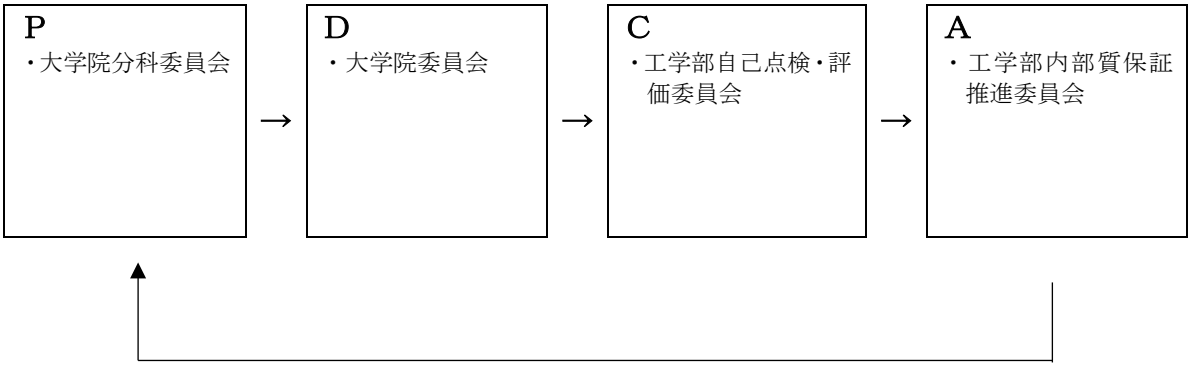
研究組織の適切性については，執行部会が中心となって，研究委員会が専門的な視点から定期的に活動を確認しており，学術・研究に関して確認を行っている。また，本研究科は，「ロハス工学」を教育・研究の柱としており，この理念に基づき専攻の枠を超えた研究や人材育成を推進するため，「ロハス工学センター」を設置し，このセンターを通じて分野横断的な研究体制を整え，ロハス工学の知見を社会へと還元している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

**基準４ 教育・学習**

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。




２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目⑥**

**教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。**

**＜評価の視点＞**

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

⑸　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

教育課程及びその内容については，大学院委員会において学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）を含めた教育課程の見直しを行い，また教育方法については，ＦＤ委員会において授業評価アンケートを行っている。自己点検・評価等については，工学部自己点検・評価委員会において毎年度学期ごとに授業自己点検・評価を行い，大学院・ＦＤ両委員会と共に工学部内部質保証推進委員会に報告している。

⑸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

教育課程及びその内容については，履修状況や科目合格率推移等について，工学部自己点検・評価委員会において授業科目ごとに授業自己点検を行っている。また，修了予定者を対象に修了時満足度調査を行っており，アンケート結果や自由記述にて出された意見を参考に改善策を立案して，その内容を工学部自己点検・評価委員会で確認している。直近では，共通科目の「ロハス工学特論」のグループ課題において，グループごとに成績が一律に評価されてしまうこと

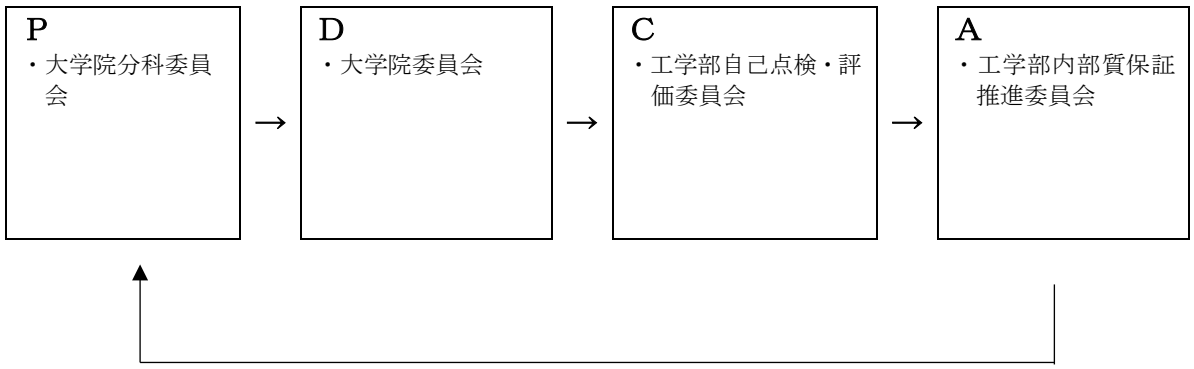
| |
|---|
| に不満の意見が見られたため，課題レポートの作成にグループ討議は必須にせず，個人ごとに評価されることが分かりやすいよう変更した。 |

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

| |
|---|
| なし |

## 基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。




２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目③**

**学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。**

**＜評価の視点＞**

- **学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

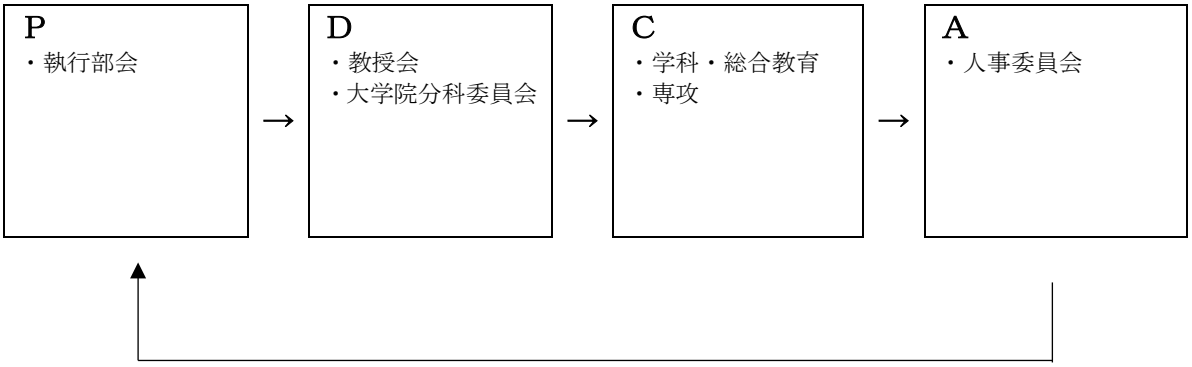
大学院入試については，大学院委員会において点検・評価した後，大学院分科委員会で審議し，その結果を次年度の入試方法に反映させているが，現状の内容で十分と考えており直近で入試方法は変更していない。また，受け入れた学生を工学部自己点検・評価委員会において，科目ごとに授業自己点検・評価を行い，科目合格率推移や授業評価アンケートでの自由記述内容を基に学生の理解度等の推移を把握することで，受け入れた学生の状況について検証を行い，工学部内部質保証推進委員会に報告している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

**基準６ 教員・教員組織**

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。




２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目④**

**教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。**

**＜評価の視点＞**

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑱　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

工学部では，人事委員会において教育の質を保証するために，一貫したカリキュラム編成を目指し，教員組織における専任，非常勤の比率の適切性や担当コマ数の配分にも留意しながら，特定の専門領域の教員が不足することのないように，教育研究の継続性を図れるよう計画的に専任教員を配置することを念頭に教員配置計画を策定している。この計画は，毎年度，点検・検証され，継続的な教育研究ができるように努めている。また，各専攻（学科等を含む）からの要望を基に，教員採用や昇格について検討を行い，各専攻が継続的かつ安定的に活動できる組織になっているかを評価し，その情報を学部執行部で共有した上で指示している。一例としては，教員採用においては，工学研究科（工学部）全体の教員組織の状況や入学者数などの動向を考慮し，毎年採用計画を見直して調整を行っている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

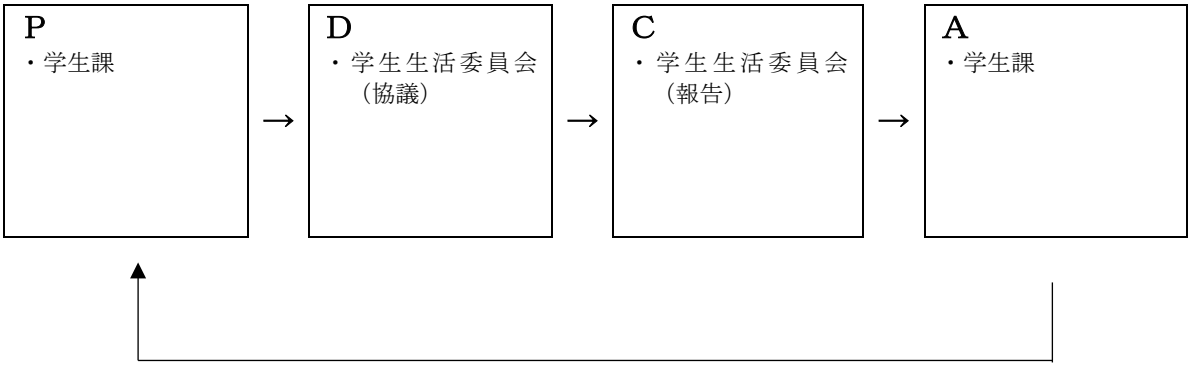
本記述のみでは，具体的にどのような基準や手順に基づいて調整がなされているかが確認で

きず，実効性を判断することは難しいため，改善が求められる。
本記述からは教職の「役割分担」や「責任の明確化」に関する具体的な取り決めや実施内容が十分には読み取れないため，改善が求められる。
教育研究活動の質と継続性を重視する姿勢自体は理解できるものの，男女比の偏りに対する具体的な対応がなされていない点については，教員組織の多様性確保という観点から改善の余地があり，改善が求められる。

執行部会では，学部運営全体の指針を策定し，人事委員会は教員配置計画において重要な役割を担っており，教授会において具体的な活動を決定している。決定された指針や計画に基づいて，各学科や総合教育が教員組織の状況に定期的にチェックを行い，評価で明らかになった課題に対して，人事委員会が各学科や総合教育と連携して改善策を実行している。
現在の教員組織は，多様性の確保に課題を抱えており，この課題を解決するには，ＰＤＣＡサイクルによる継続的な改善と，執行部会・人事委員会・教授会・各学科が一体となった具体的な行動が不可欠である。

## 基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。




２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目②**

**学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。**

**＜評価の視点＞**

- **学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生支援に関わる事項について，学生課で立案して学生生活委員会で協議の上，実行している。実施後は学生生活委員会に報告し，実施目的の達成度の観点から点検・評価を行うとともに，委員から意見を聴取し，次回の改善につなげている。

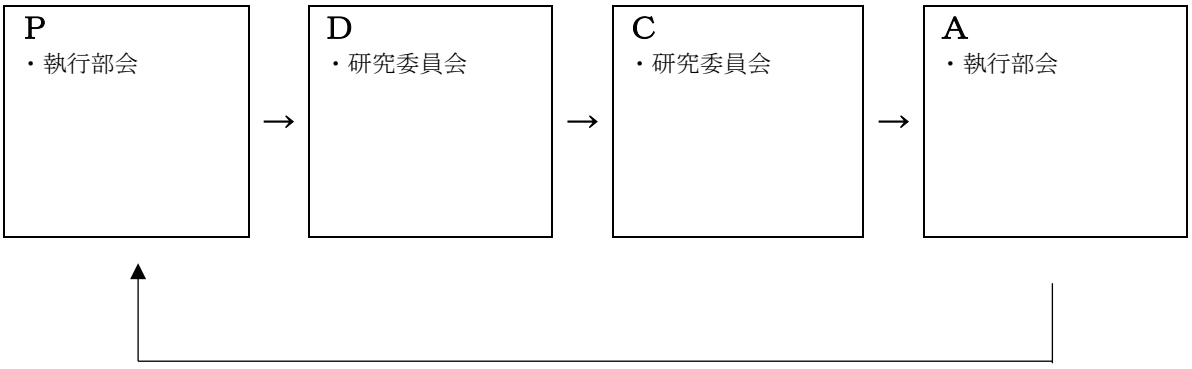
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

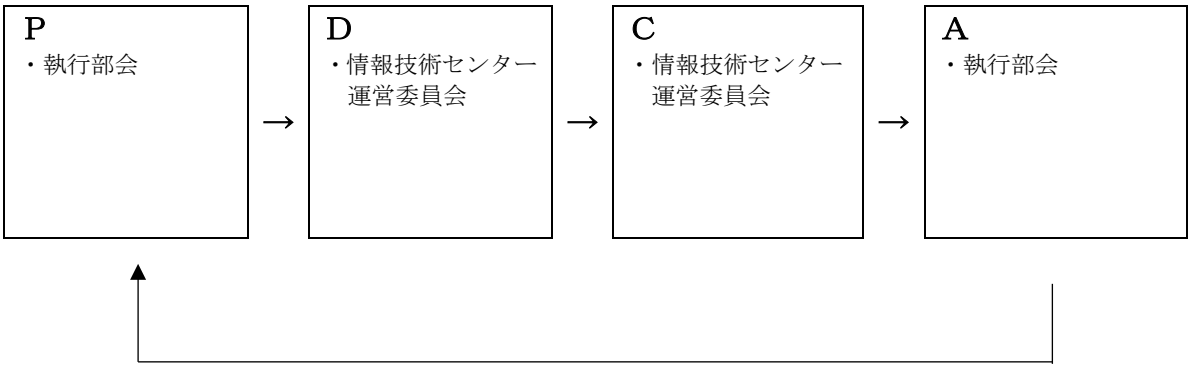
## 基準８ 教育研究等環境

1　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【研究等環境】




【ＩＣＴ環境】




2　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目④**

**教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。**

**＜評価の視点＞**

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑩　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

研究等環境に関する事項については，主に研究委員会及び情報技術センター運営委員会の二つの組織において，継続的な点検・評価（検討・検証）が行われている。その結果を踏まえ，研究活動の基盤となるインフラストラクチャの整備や研究活動自体の適正性の確保，さらには支援体制の改善・向上につながっている。

令和７年度においては，ＩＴ環境の安定性及び利便性の向上が図られた。セキュリティ面で

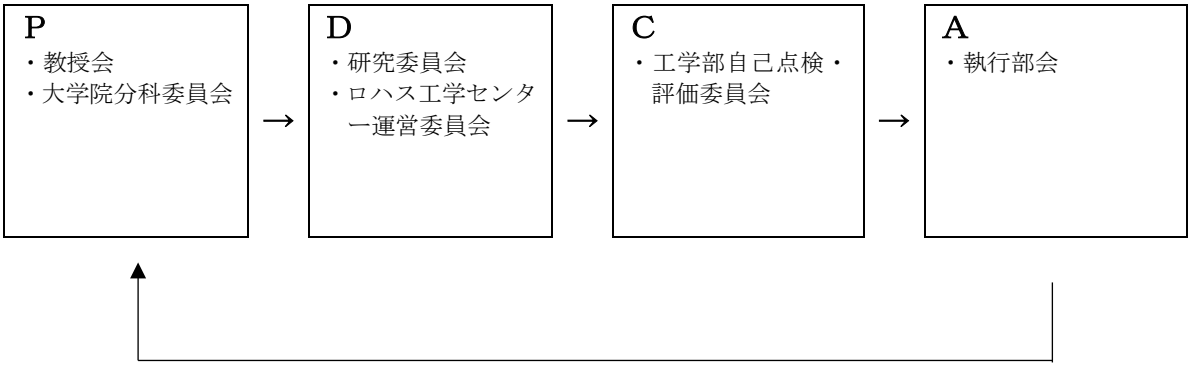
は，旧ＯＳバージョンに係る脆弱性への対応として，ＩＤ管理システム及び認証サーバの更新を実施した。また，利便性向上の取組として，無線ＬＡＮアクセスポイントを次世代規格（Ｗｉ－Ｆｉ６）へ更新した。
　なお，これらの評価結果に基づき，工学部内部質保証推進委員会において改善策等を報告する予定である。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

**基準９ 社会連携・社会貢献**

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。




２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

**点検・評価項目②**

**社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。**

**＜評価の視点＞**

- **社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

社会連携・社会貢献に関わる事項について，年に１回の郡山市からの客観的視点による評価を受けて，地域連携等の意見に関しても，工学部自己点検・評価委員会に報告するなどをしている。しかし，地域連携に特化した学内に点検・評価する組織はなく，本学部におけるロハス工学に関する研究などの中枢を担う組織として設置しているロハス工学センターが研究面からの地域連携を検討し，実施している。また，令和７年 11 月 18 日に，「第 24 回 産・学・官連携フォーラム」を開催し，公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構と工学研究科の連携により，対面と YouTube 配信を併用したハイブリッド形式で実施され，多くの産業界・学術界・行政関係者が参加し，東日本大震災からまもなく 15 年を迎えようとする中，被災の経験をいかに技術革新や地域防災へと昇華させてきたか，産学官それぞれの視点から貴重な講演が行われた。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし